

桜の郷里

37 上弁城・広谷・長浦地区



No Photo

吉右衛門谷池の桜／標高 210 m

調査日▶2018年3月30日
木の大きさ▶胸高周囲145cm×樹高約18m

吉右衛門谷池の東側20 mの位置にある。周辺は、マダケや灌木がびっしり生えていて近づくのが大変な場所。木は高さ2.5 mの所で分枝。根元には周囲64cmのタブキノ、直径8cmのヤマフジが上がっていた。花は淡紅色。久留守池から樹冠が見える。

30 上弁城・広谷・長浦地区



方城2号線林道沿い③／標高 386 m

調査日▶2019年3月31日
木の大きさ▶根回り171cm×樹高約8m

大曲橋手前30 m、高さ12 mのコンクリート壁の上にあり、枝は林道に差し出ている。根回りは171cm、高さ0.6 mの所で、周囲98cmと60 cmが分枝。主幹は119cm。花の色は淡紅色。満開になるとほとんど白色になる。

23 上野地域



No Photo

海女ヶ桜／標高 520 m

調査①▶1994年4月21日／木の大きさ▶胸高周囲128cm×樹高約18m
調査②▶2017年8月26日／木の大きさ▶胸高周囲193cm×樹高約20m

福智山登山道から上野越下70 m、イロハモミジなどの高い木と共存している。花は紫紅色。樹齢推定80年。幹はまっすぐに伸びている。周囲がふさがっているため、花は見えにくい。

1516 岩屋川／弁城川上流域



岩屋線林道②／標高 285・286 m

調査日▶2019年3月31日／木の大きさ▶胸高周囲66cm×樹高約8m
木の大きさ▶胸高周囲44cm×樹高約8m

2本共ごく若いエドヒガン。方城2号線林道のゲートから190 m先、コンクリート壁のすぐ上にあって2本は上下に並んでいる。下の木の枝は林道に差し出ている。花は白色に近い。周囲はモウソウチク林。

38 上弁城・広谷・長浦地区



奥ヶ畑の大ヒガン／標高 200 m

調査日▶2019年5月13日
木の大きさ▶胸高周囲283cm×樹高約25m

奥ヶ畑の水源近くの住居跡からマダケの生える谷間を約80 m。さらに右に急斜面を約20 m登った所に立つ。桜の幹は周囲283cm、根回り341cmもあり、福智山地では3番目に大きな桜。高い木に囲まれているが今は桜の樹冠を超えるものはない。花はほぼ白色。

31 上弁城・広谷・長浦地区



大曲橋直下／標高 360 m

調査日▶2019年3月31日
木の大きさ▶胸高周囲113・68cm×樹高約10m

大曲橋直下、弁城川の谷底左岸。砂防堤より約15 m上方の急斜面にある。幹は川の方に倒れている。樹冠をヤマフジやムベなどのツル植物が被っていて、花付はよくない。花はソメイヨシノよりやや濃い。

24 上野地域



No Photo

鷹取山頂直下①／標高 490 m

調査日▶1998年3月31日
木の大きさ▶胸高周囲103cm×樹高約20m

電波の反射板から旧道を進む。鷹取山山頂真下に当たるところの道の土側。花は淡紅色。

17 上野地域



虎尾桜／標高 380 m

【町指定文化財(天然記念物)】
調査日▶1990年4月20日／木の大きさ▶胸高周囲383cm×樹高約23m

上記の木の大きさは発見当時のもので、現在は腐朽が進んで幹周りの測定ができない。花は紅色で非常に美しい。樹齢600年以上、1990年以降「虎尾桜を心配する世話人会」をはじめ、多くの人が関わって保全してきた。

39 その他の地域



広谷の紅桜／標高 330 m

調査日▶2009年3月24日
木の大きさ▶胸高周囲195cm×樹高約20m

30度あまりの傾斜地に生えている。幹は高さ3 mの所で二又に分かれており、それぞれ直径40cmあまり。花は紫紅色できれい。この桜の斜め下には同程度のヤマザクラがある。朝倉線林道の入口付近から稜線西側の斜面によく見える。樹齢推定95年。

32 上弁城・広谷・長浦地区



大曲橋下谷底／標高 352 m

調査日▶2019年3月31日
木の大きさ▶4本立ちの根回り295cm×樹高約17m

砂防堤の下方約10 mの川底に近い場所にある。ほとんど地際から4本立ちになっているが、正しくは周囲113cmと122cm、82cmと76cmの2つに分かれている。樹下にヤブツバキやアオキがあった。花は満開時は白色に近い。上の林道から谷底によく見える。

25 上野地域



No Photo

鷹取山頂直下②／標高 485 m

調査日▶1998年3月31日
木の大きさ▶胸高周囲83cm×樹高約12m

No 24「鷹取山頂直下①」のある登山道の下側。一帯はイロハモミジ、タブキノなどの高い木が茂っていて発見しにくい。花は淡紅色。

18 上野地域



源氏桜／標高 490 m

調査①▶1994年4月13日／木の大きさ▶胸高周囲187cm×樹高約22m
調査②▶2018年5月30日／木の大きさ▶胸高周囲230cm×樹高約24m

虎尾桜から東方へ歩いて約50分。平家桜から70 m先。花は濃紅紫色。虎尾桜から1週間遅れて開花する。樹齢推定95年。樹勢は良好で、毎年「虎尾桜を心配する世話人会」が手入れを行っている。

40 その他の地域



朝倉線林道最上部大曲の桜／標高 420 m

調査日▶2019年4月13日
木の大きさ▶双幹180・154cm×樹高約18m／根回り▶320cm
朝倉線林道の終点近くに生える桜。林道に面した急斜面にあり、枝の一部は林道に差し出ている。根回り320cm。幹は地際で2本に分かれ、胸高周囲は180cmと154cm、枝張りには20 m以上あり最大級の桜。咲き始めはピンク色、後に淡紅色。樹齢推定90年。

33 上弁城・広谷・長浦地区



大曲橋からの稜線／標高 385 m

調査日▶2019年3月31日
木の大きさ▶胸高周囲110cm×樹高約12m

大曲橋から林道を約35 m、高いコンクリート壁のすぐ上にある。周囲にはタブキノやシロダモ、ヤブツバキなどの亜高木が茂り、木にはヤマフジやクズなどが上がっている。花は淡紅色。

26 上野地域



No Photo

三姉妹／標高 425 m

調査日▶1998年3月31日
木の大きさ▶胸高周囲83.63.46cm×樹高約8m

虎尾桜から尾根を登った左側にある。倒れた幹から3本の幹が並んで立ち上がったもの。花は紅色できれいな姿から三姉妹と名付けられた。

19 上野地域



平家桜／標高 475 m

調査①▶1994年4月13日／木の大きさ▶胸高周囲170cm×樹高約25m
調査②▶2018年5月30日／木の大きさ▶胸高周囲214cm×樹高約27m

源氏桜の手前。花は淡紅色。樹齢推定95年。源氏桜とほぼ同じ大きさ。周囲にある高い樹木に埋没している。

41 注目すべき植栽樹



おくせどの桜／標高 120 m

調査①▶2003年4月6日／木の大きさ▶胸高周囲125cm×樹高約15m
調査②▶2018年6月19日／木の大きさ▶胸高周囲197cm×樹高約20m

上野皿山の住人が1958年頃に福智山の本谷から持ち帰り庭先に植えたエドヒガン。持ち帰った苗はほぼ10年生であったと考えられており、2018年で60年を経過。現在の樹齢推定は74年。咲き始めは紫紅色、満開時には淡紅色になる。

34 上弁城・広谷・長浦地区



No Photo

大曲橋東方稜線／標高 450 m

調査日▶2019年3月31日
木の大きさ▶胸高周囲(根元で分枝)117・81cm×樹高約16m

No 33「大曲橋からの稜線」から急斜面の杉山を登ると、また亜高木の自然林に出る。この桜は母樹が枯れる前にできたこぼえが生長したもので、根元で2本に分かれ、小さい方の幹は斜上して梢は下方のスキに触れている。花は淡紅色。

27 上弁城・広谷・長浦地区



ガードレール下／標高 320 m

調査①▶1998年3月30日／木の大きさ▶胸高周囲170cm×樹高約18m
調査②▶2019年3月31日／木の大きさ▶胸高周囲208cm×樹高約20m

方城2号線林道の太曲橋手前約180 mのガードレール下の谷間にある大木。杉木立に埋もれており、道の上からはよく見えない。高さ3 m以上に枝があるが、多くは谷の下側に伸びている。花はソメイヨシノよりやや濃い。推定樹齢90年。

20 上野地域



No Photo

平家桜の手前 50 m／標高 465 m

調査日▶2018年5月30日
木の大きさ▶胸高周囲154cm×樹高約15m

福智山登山道から数m谷側。幹の高さ1.5から2.5 mに傷がある。花は淡紅色。

42 注目すべき植栽樹



福泉坊の桜／標高 180 m

調査①▶2004年3月26日／木の大きさ▶胸高周囲110cm×樹高約10m
調査②▶2019年3月29日／木の大きさ▶胸高周囲117cm×樹高約11m

かつての修験者の坊跡である福泉坊屋敷の奥の墓地に生えている。位置から考えると墓守の桜であると推測される。幹は上段の墓地から下段の墓地に傾いており、ヒノキやシラカシ、タブキノなどに埋もれている。咲き始めは紫紅色で満開時は淡紅色になる。

35 上弁城・広谷・長浦地区



※ 上部の桜がNo.35

大曲橋東方稜線の2本の紅桜①／標高 478 m

調査日▶2019年3月20日／木の大きさ▶胸高周囲206cm×樹高約25m

稜線の標高480 m付近にあるタブキノ、スダジイ、イヌシデ、イイギリなどの高さ25 mを超える大木が残されており、ここにNo 35 とNo 36 のエドヒガンがある。この2本のエドヒガンの大木は上下に6 m離れている。どちらも濃い紫紅色。

28 上弁城・広谷・長浦地区



方城2号線林道沿い①／標高 368 m

調査①▶1998年3月30日／木の大きさ▶幹周り52・49・28cm×樹高約5m
調査②▶2019年3月31日／木の大きさ▶幹周り108・100・68cm×樹高約11m

No 27の「ガードレール下」から大曲橋寄りに約50 m、林道より10 m上方にある。基部は2本だが、すぐに分枝して3本たちになっている。花の色は淡紅色。

21 上野地域



No Photo

源平桜途中の小尾根上／標高 500 m

調査日▶2018年5月30日
木の大きさ▶胸高周囲123cm×樹高約15m

八丁越への登山道から源平桜へ最初の谷川を渡って約80 m先の小尾根を左に入る。花は淡紅色。この尾根上には胸高周囲245cmをはじめ200cm級の大いヤマザクラが数本ある。

43 注目すべき植栽樹



長浦の墓守の桜／標高 265 m

調査日▶2019年6月2日
木の大きさ▶高さ0.8mで295cm×樹高約25m(根回り330cm)

長浦集落で最も高所にある墓地の墓守の桜と考えられる。高さ0.8 mの所で3本に分枝。分枝直下の大きさは周囲295cm。3本の胸高周囲の合計は417cm、高さ0.3 mの根回りは330cmで虎尾桜に次ぐ大きな桜。花は淡紅色。推定樹齢130年。

36 上弁城・広谷・長浦地区



※ 下部の桜がNo.36

大曲橋東方稜線の2本の紅桜②／標高 480 m

調査①▶1996年4月16日／木の大きさ▶胸高周囲151cm×樹高約20m
調査②▶2019年3月20日／木の大きさ▶胸高周囲190cm×樹高約25m

No 35「大曲橋東方稜線の2本の紅桜」のもう一つ。どちらの桜(No 35・No 36)も下部に枝はなく、梢は他の樹木に遮られているため、樹冠を見ることができない。どちらも推定樹齢は90年。

29 上弁城・広谷・長浦地区



No Photo

方城2号線林道沿い②／標高 369 m

調査日▶2019年3月31日
木の大きさ▶胸高周囲128cm×樹高約13m

No 28の「方城2号線林道沿い①」からさらに30 m先。林道から20 m上方にある。一本立ちで、高さ4 mまで分枝なし。花は淡紅色。

22 上野地域



No Photo

源平桜への途中／標高 535 m

調査日▶2018年5月30日
木の大きさ▶胸高周囲167cm×樹高約17m

No 21の「源平桜途中の小尾根上」からさらに谷奥へ。ガレ場を約50 m登ると右側の急斜面にある。花は淡紅色。